

# 「令和 6 年能登半島地震」後の斜め写真に基づく 被災状況報告（速報）

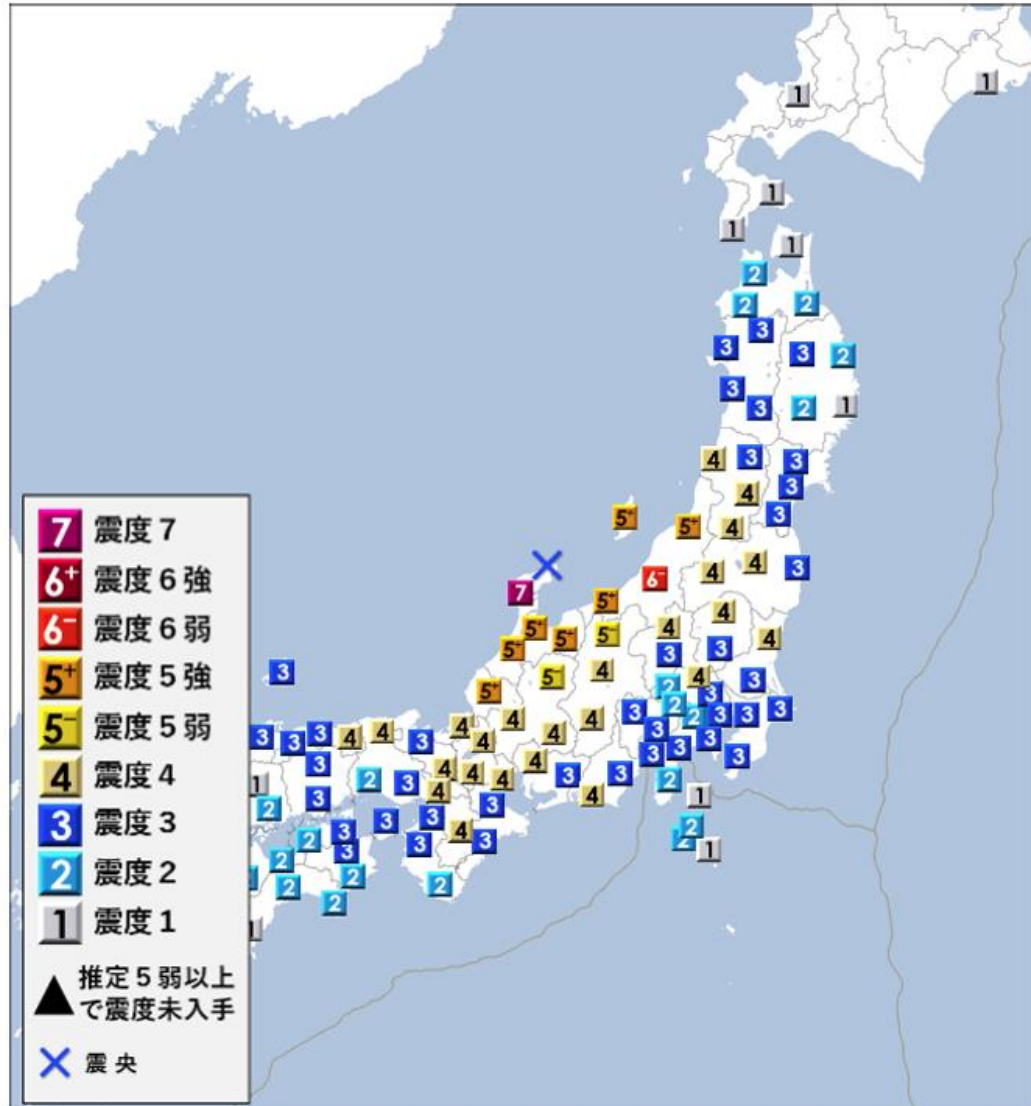
中日本航空（株）

検知時刻（最初に地震を検知した時刻）	1月1日16時10分
発生時刻（地震が発生した時刻）	1月1日16時10分
マグニチュード	7.6（暫定値）
発生場所	石川県能登地方（輪島の東北東30km付近） 深さ ごく浅い
発震機構	北西—南東方向に圧力軸を持つ逆断層型（速報）
震度	【最大震度7】石川県の志賀町(しかまち)で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測
地震活動の状況	
2日09時00分現在	1日16時以降、震度1以上を観測した地震が147回発生（震度7：1回 震度5強：3回 震度5弱：5回 震度4：20回 震度3：57回 震度2：61回）
長周期地震動の観測状況	石川県能登で長周期地震動階級4を観測

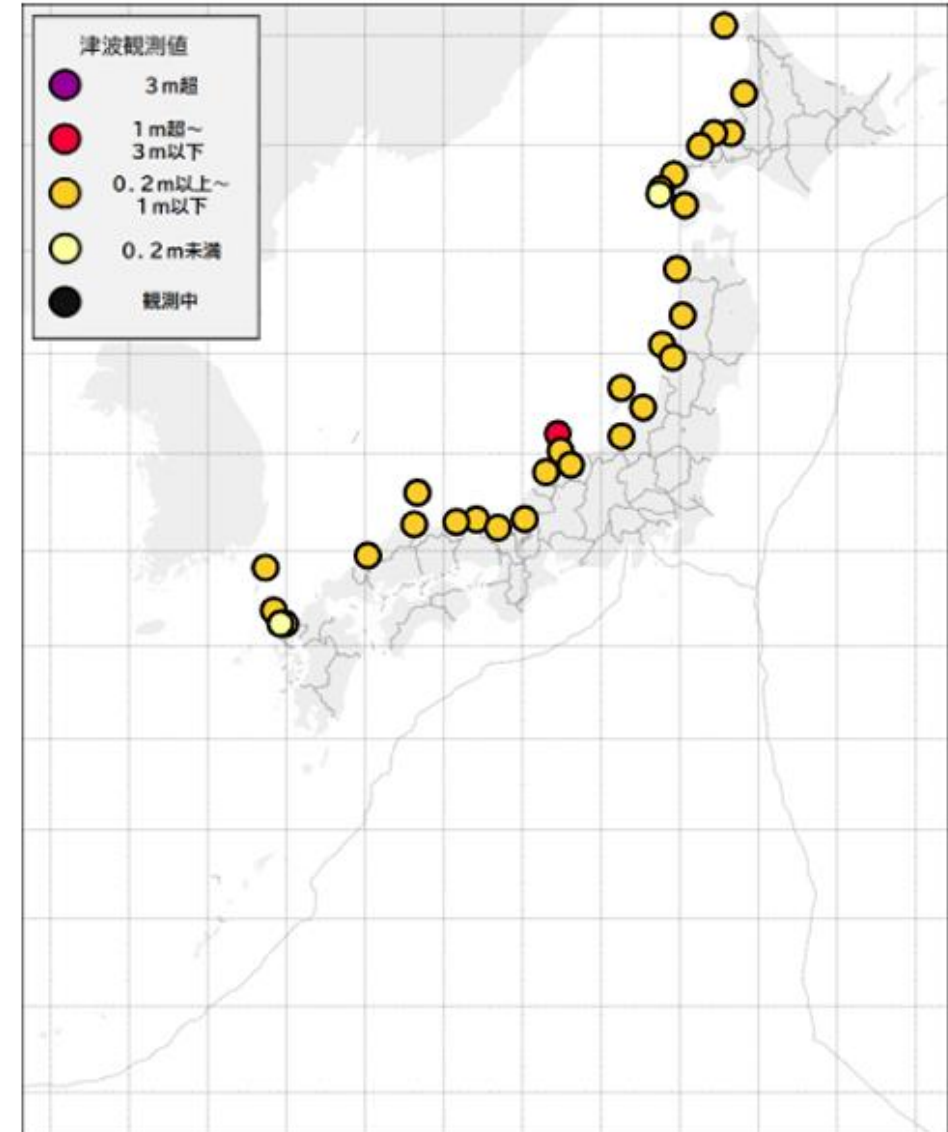
# 震度分布と津波分布

気象庁「令和6年能登半島地震」について  
(第5報) などより

1月1日16時24分発表



1月2日02時33分発表



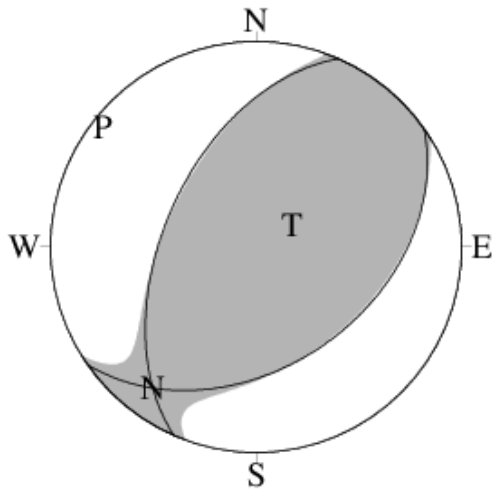
## 地震発生時刻と震源位置およびマグニチュード

発生時刻	緯度	経度	深さ	M
2024年01月01日16時10分頃	北緯37.5度	東経137.2度	ごく浅い	7.6

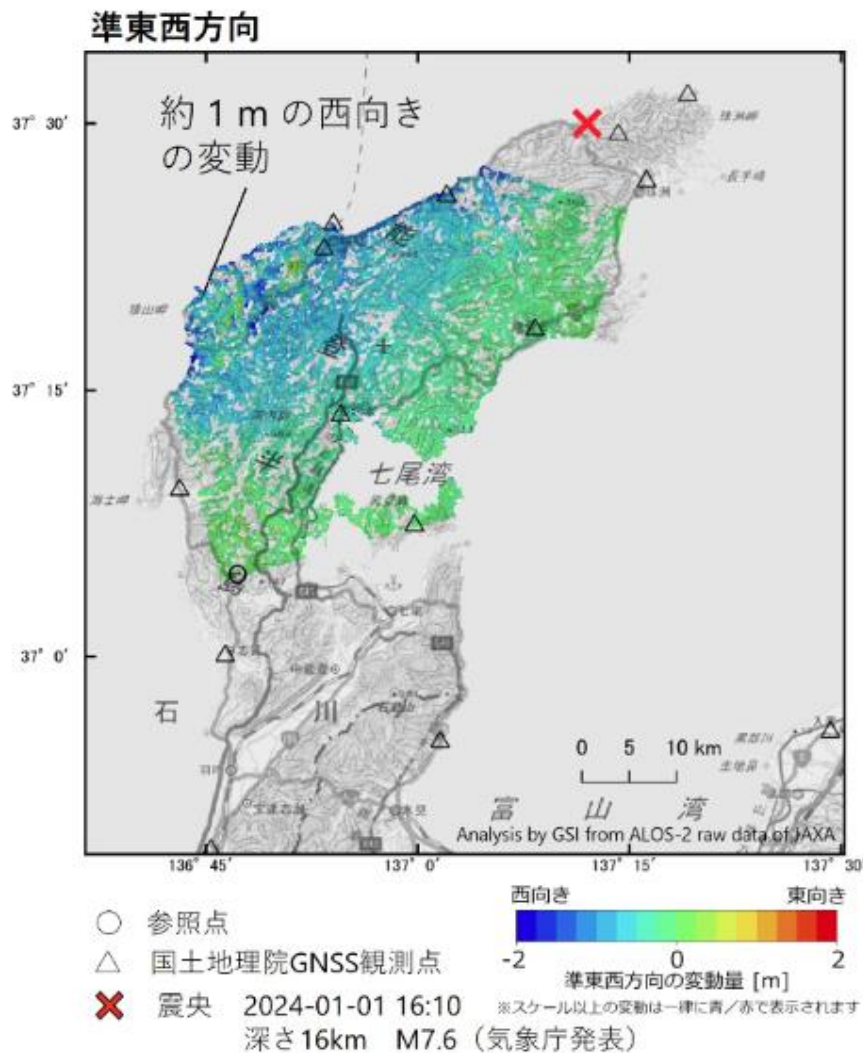
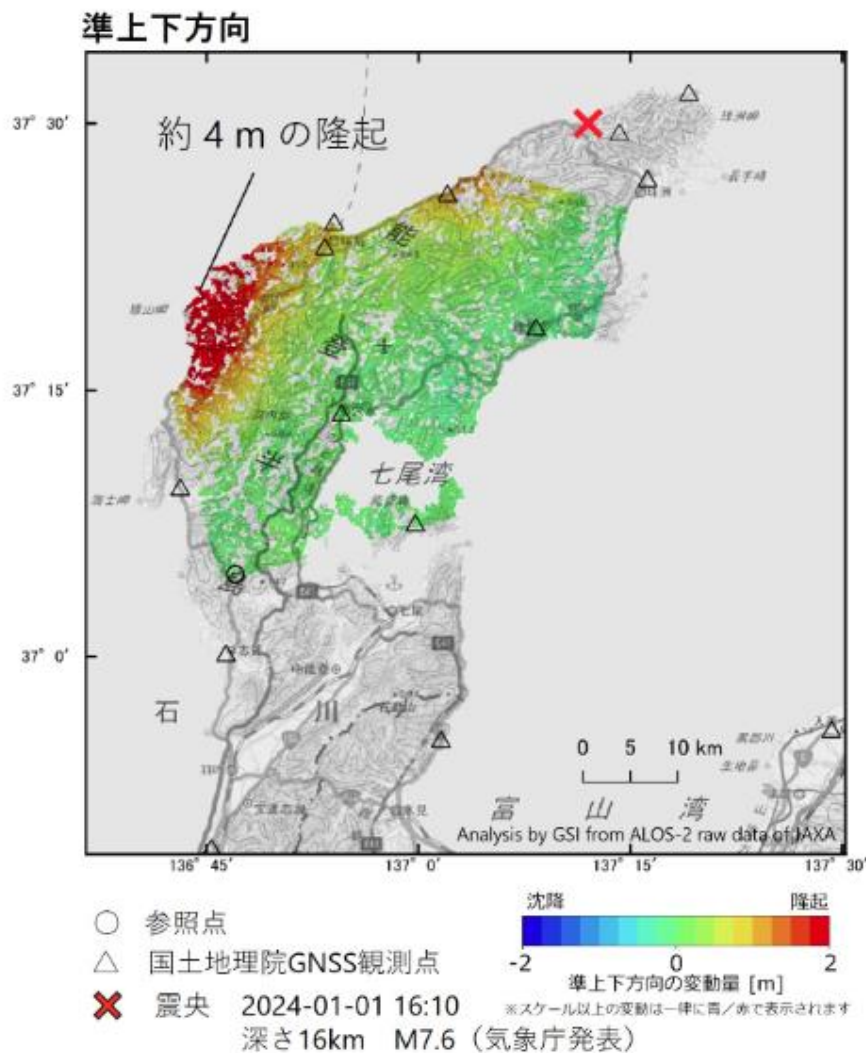
## セントロイド時刻とセントロイド位置およびモーメントマグニチュード

セントロイド時刻	緯度	経度	深さ	Mw
2024年01月01日16時10分38.7秒	北緯37度20.1分	東経137度17.8分	10km	7.5

## 震源球（下半球等積投影）と震央位置



# SAR解析による地殻変動（国土地理院HPより）



だいち2号データ  
2.5次元解析結果

図1 2.5次元解析結果による変動量(左:準上下方向、右:準東西方向)(2.5次元解析とは)【地理院地図で閲覧】

令和6年1月1日16時10分に石川県能登地方で発生したマグニチュード(M)7.6（暫定値）の地震により、石川県羽咋郡志賀町で最大震度7を観測したほか、能登地方の広い範囲で震度6弱以上の揺れを観測したほか、北海道から九州にかけての日本海側で津波を観測していることが確認されました。

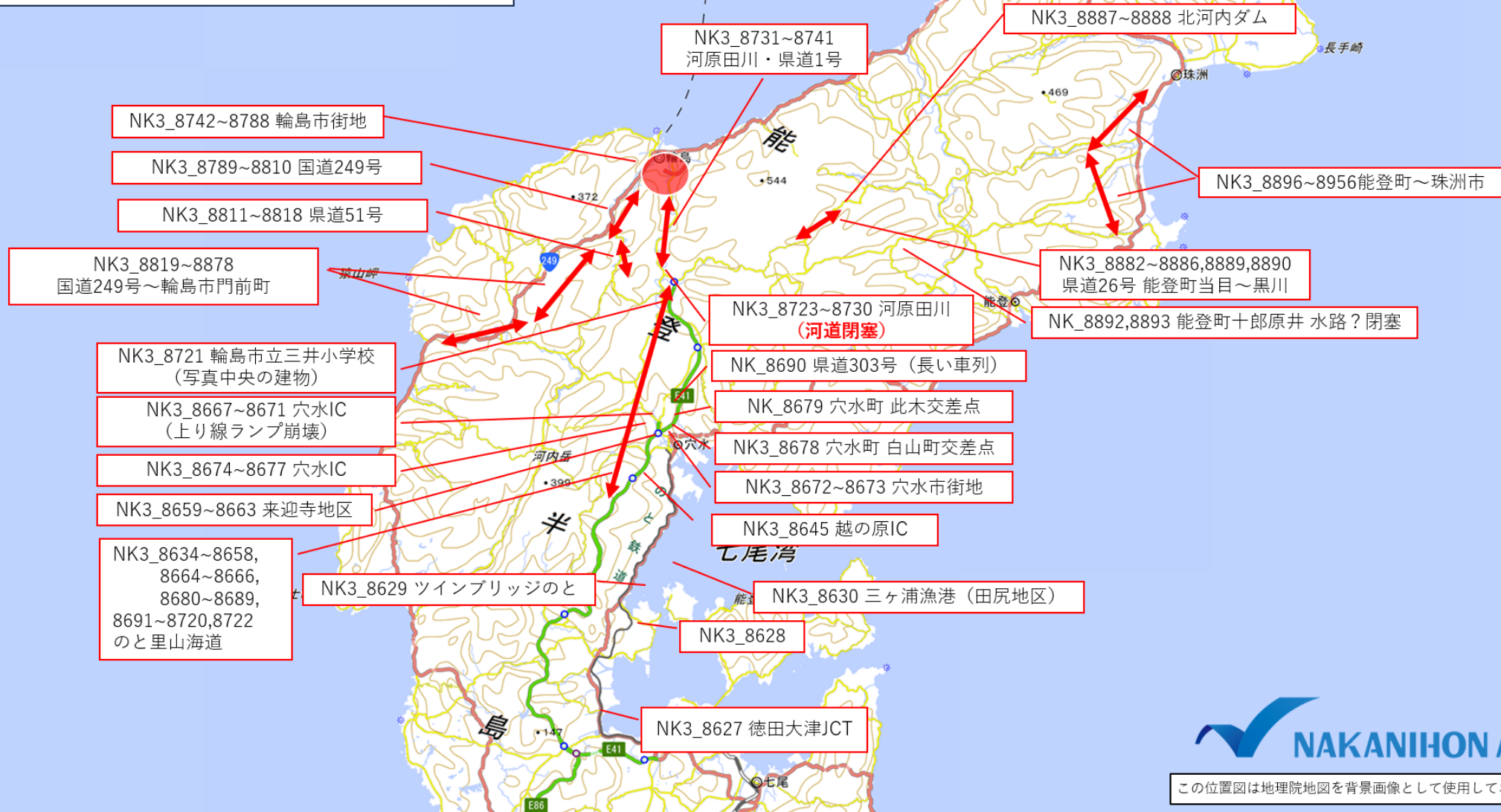
現在も活発な地震活動が継続しており、1月1日以降の地震活動は北東－南西に延びる150km程度の範囲に広がっています。輪島観測点（国土地理院）で西南西方向に1.2m程度の変動、1.1m程度の隆起が見られるなど、能登半島を中心に広い範囲で地殻変動が観測されました。

一連の地震活動は、主に能登半島の北東部及び北側の海域を中心に発生しており、1月1日以降の地震活動域は、能登半島の北部を北東－南西方向に縦断し、北東側は能登半島北東海域、南西側は平成19年（2007年）能登半島地震の活動域付近まで達しています。今回の地震は、昭和58年（1983年）日本海中部地震（M7.7）や、平成5年（1993年）北海道南西沖地震（M7.8）と同様に、津波を伴った日本海沿岸の大地震と言えます。

# 「令和6年能登半島地震」後の 1月2日撮影「斜め写真」に基づく被災状況

中日本航空（株）・（株）ナカノアイシステム共同撮影成果利用

令和6年能登半島地震 斜め写真位置図  
撮影日:令和6年1月2日




この位置図は地理院地図を背景画像として使用しております。





































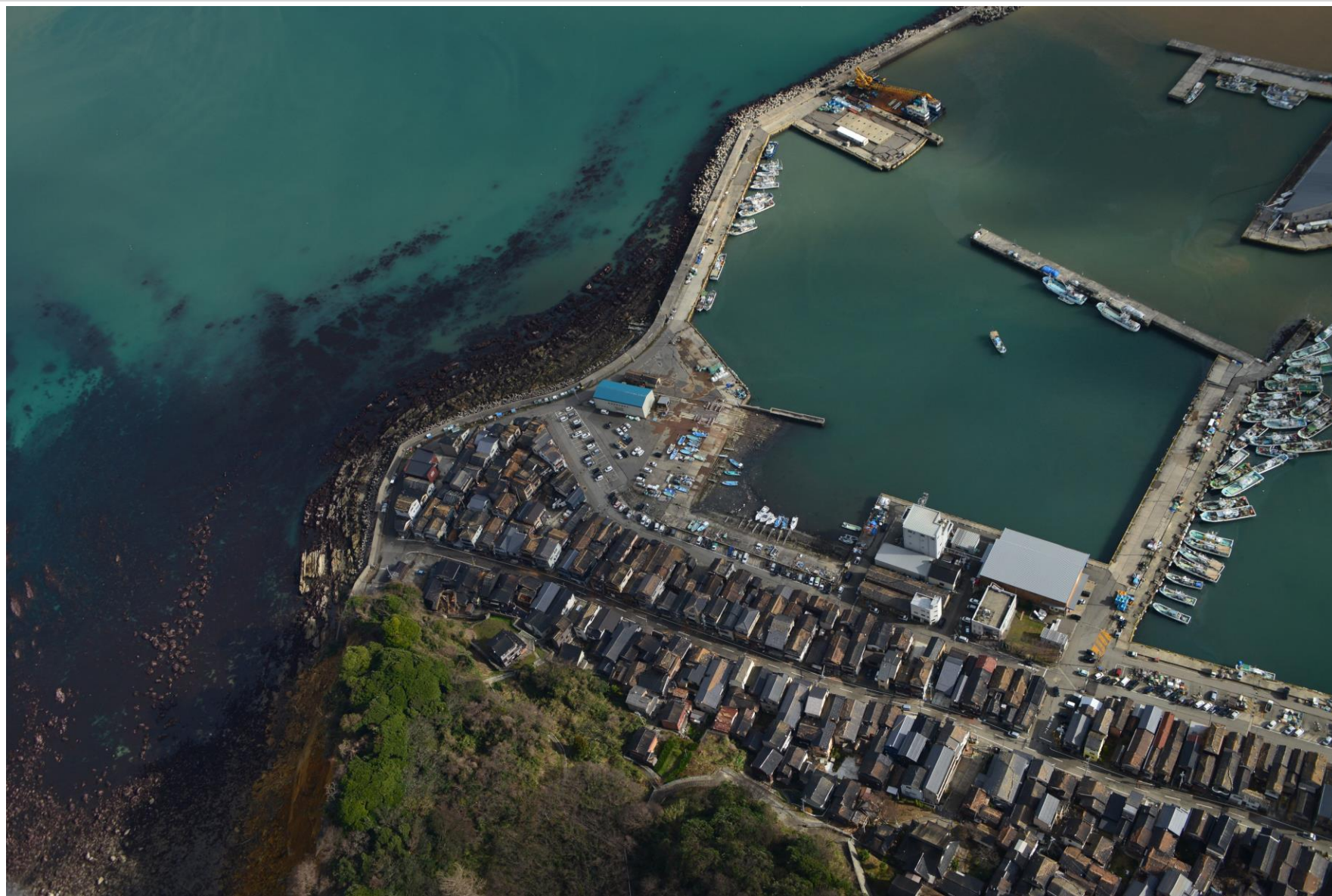




























赤色の橋は  
「いろは橋」

























約4m (SAR解析)  
隆起した海岸



約4m（SAR解析）隆起した海岸

























学校の裏山  
が斜面崩壊









(1) 「のと里山海道」では、盛土の変状（地割れ・沈下・崩壊）が多く発生している一方、地山における変状は相対的に少ないようです。コンクリート橋脚や橋台及び床版については、写真で見る限り、明瞭な変状は確認できませんが、すり付け部の盛土には、沈下や崩壊が認められました。

(2) 輪島市の河川沿いの沖積低地では、地震による地割れ（亀裂）や液状化が発生し、これらの地盤変状により家屋の全壊・半壊の被害が顕著に認められました。また、朝市で有名な河井町では地震被害だけでなく、大規模な地震火災が発生しておりその火災跡が確認できました。

(3) 輪島から門前町に至る国道249号などの山地内では、地震による斜面崩壊・地すべりが多く認められ、国道は数か所で完全に寸断されており、山地内における斜面の変状・崩壊が顕著となっています。

(4) 輪島市門前町黒島町の海岸では、隆起量が約4m（SAR解析）の隆起海岸となっていることを確認しました。

(5) 鳳珠郡能登町字布浦拓から珠洲市鉢ヶ崎までの海岸線では、地震による建物・港湾被害（護岸）及び津波による建物被害・漁船被害が認められました。